



田村正幸

湯沢高校跡地の 夏季観光への活用について

について伺います。

町長答弁

ロープウエー体育館の取り壊しと湯沢高校跡地の夏季観光への活用について

質問

11月20日の産業建設常任委員会でロープウエー体育館の取り壊しが報告された。夏季観光にとって重要な施設と訴えてきた者として大変残念である。夏季観光事業者からも落胆の声が寄せられている。アメリカのサブプライム住宅ローン問題に端を発して日本経済の減速、景気の悪化が続いている。加えて雪不足の心配もあり、今冬の入り込み客数の減少が予想される。来年9月中旬以降の取り壊しを望む声があるが、その時期

昭和47年に建設され、屋根・水回りを中心に老朽化していることから、今回湯沢高校施設の買収することに合わせて用途を廃止することにした。現在地権者とそのことについて話し合いが行われている。取り壊しについては地権者との話がついた時点と考えている。

質問

11月10日の少子化対策特別委員会で湯沢高校跡地の買収の方向が示された。この施設を夏季観光事業者に

開放すると聞いたが、具体的にどのようにされるのか伺います。

町長答弁

湯沢高校跡地と湯沢中学を合わせてスクールゾーン



取り壊しが決定したロープウエー体育館

としたいと考え、12月議会に予算計上した。小学校統合については保護者・関係者への説明と町の財政状況の検討等から数年の月日がかかる。今後の予定としては来年の早い段階で提示し相談させていただきたい。取得後学校等の施設として利用するまでの間、青少年体育センターが利用できない状況であればこの施設を開放したい。

松川橋架け替えについて

質問

平成13年8月22日の台風11号で橋脚が沈下した。過去にも3回流失していることや、増水時には大変危険の状況になっている。橋の幅員が5・5mと狭く歩道もないので歩行者も大変危険である。土樽松川の町内の生活道路として土樽地域の観光道路として重要な路線であり、議会からも意見書が提出され、町も県に対して最重要案件として要望

している。地元6町内会で14年2月に6、407人の署名活動を行い県に陳情している。架け替えにあたって橋の長さがネックとなっているが、湯沢砂防との協議と現在の状況について伺います。

町長答弁

橋長が180mと長いため架け替えには相当の費用がかかるという課題がある。県は新松川橋を設計するにあたり橋長と架設条件について、今年7月町を含め正式に湯沢砂防との協議を開始した。湯沢砂防事務所としては川幅を狭くする場合各種調査実験を重ね、安全性を確保する必要があるとして早々に水利模型を作成するための現地測量を行った。この後測量データを基に、80分の1の模型を作成し条件を変えての水利実験を繰り返す、護岸設置の判断を行いたいと聞いている。この結果が出るまで時間がかかるが、引き続き実現に向けて努力いたします。